

事業の概要

羽田空港においては、首都圏空港の機能強化に向けて、飛行経路の見直し等により2020年までに空港処理能力を約4万回拡大する取組みを進めています。

平成30年度予定

○平成30年度予算では、飛行経路の見直しに必要な航空保安施設、誘導路等の施設整備を実施するとともに、駐機場の整備、国際線・国内線地区を結ぶトンネル(際内トンネル)の整備、空港アクセス道路の改良、川崎市・羽田空港を結ぶ連絡道路の整備、A滑走路等の耐震対策及び基本施設等の老朽化に伴う更新・改良を実施します。

事業の効果

- 国際線・国内線の乗継ぎ経路の拡充等により利便性が向上します。
- 駐機場の拡充等により、拠点空港機能が強化されます。
- 地震発生率が高いとされる首都圏直下地震等に対し、震災後も航空ネットワークの機能低下を最小化するための耐震化が図られます。

【平成30年度 主要整備事項】

